

「王子公園再整備基本方針（修正素案）」について

1 これまでの経過

- (1) 令和3年12月 「当初素案」の公表
- (2) 令和3年12月～1月 市民意見募集
- (3) 令和4年6月 「見直しに向けた市の考え方と施設の方向性」の公表
- (4) 令和4年6月～8月 見直しに向けた市民との意見交換会

2 王子公園再整備基本方針（修正素案）

- (1) 市民意見募集
令和4年9月27日（火）～10月26日（水）（予定）
- (2) 王子公園再整備基本方針（修正素案）
資料1のとおり

3 参考資料

- (1) 「王子公園再整備基本方針（素案）見直しに向けた、市の考え方と方向性（6月常任委員会報告資料）」（抜粋）
資料2のとおり
- (2) 王子公園再整備基本方針（素案）見直しに向けた市民との意見交換会の結果
資料3のとおり

王子公園 再整備基本方針 (修正素案)

令和4年9月

神戸市

目 次

1. 背景	52
(1) 王子公園の位置と歴史	52
(2) 王子公園周辺の現況	52
(3) 王子公園の施設概要及び課題	53
2. 再整備の意義	54
(1) 上位計画等	54
(2) 王子公園再整備の意義・効果	54
3. 再整備の基本目標とゾーニング	55
(1) 5つの基本目標	55
(2) ゾーニング	56
4. 再整備による各施設の方向性	57
5. 再整備の進め方	58
6. 参考	59
(1) 王子公園の概要	59
(2) 施設の管理・運営	59
(3) 施設の利用状況	60
(4) 駐車場の整備台数	60

1. 背景

(1) 王子公園の位置と歴史

王子公園は、本市の都心である三宮・元町の東約3 kmに位置しており、駅に近く利便性の高い貴重な空間です。この一帯はかつて「原田の森」と呼ばれ、明治中頃まで田畑が広がっていました。

1889年（明治22年）に創立された関西学院を皮切りに、神戸高等商業学校（現：神戸大学）や松蔭女子学院、神戸海星女子学院が開校されました。また、1919年（大正8年）に市電上筒井線の終点「筒井駅」が開業し、翌年には阪神急行電鉄「上筒井駅」が開業されました。

1950年（昭和25年）には王子公園（19.2ha）が供用され、戦災復興と発展のため神戸博が開催されました。翌年の1951年には、その跡地に諏訪山動物園を継承するかたちで、現在の王子動物園が開園し、1956年の第11回国民体育大会の開催にあわせてスポーツ施設が次々と整備されました。このように、王子公園一帯は、近代から高度成長期の神戸の発展に先導的な役割を果たしてきた地域です。

また、王子公園は1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災において、災害対応機能として自衛隊や消防応援を受け入れ、物資拠点機能、住民避難機能などを備えた広域防災拠点としても大きな役割を果たしました。

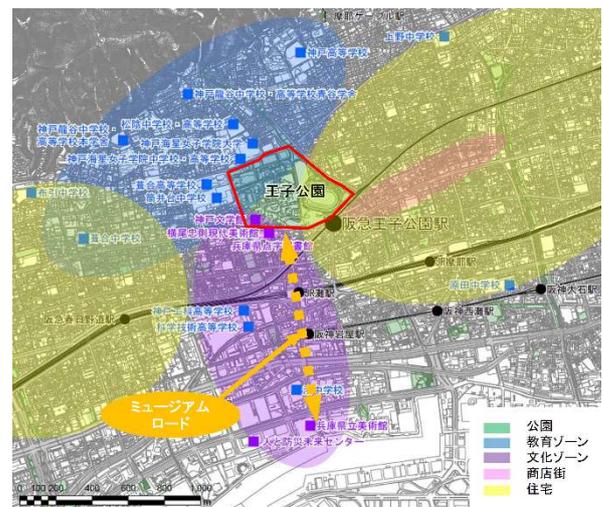
(2) 王子公園周辺の現況

阪急王子公園駅周辺は六甲山系の美しい山並みを背景とした阪神間を代表する景観が広がり、良好な住環境が形成されています。

また、文化施設や教育施設、スポーツ施設が集積する学術・文化のまちとして発展を遂げてきました。南北を貫く「ミュージアムロード」には、多くの芸術作品が設置されているほか、阪神・淡路大震災からの「文化の復興」シンボルとして、2002年に建設された兵庫県立美術館や2012年に王子公園前に開館した横尾忠則現代美術館などもあり、多くの方々が市内外から訪れる文教エリアとして魅力的な地域となっています。



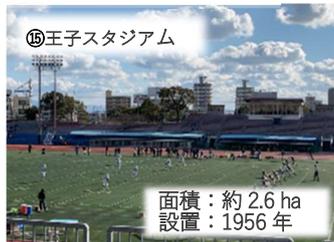
【1915年（大正4年）頃の原田の森】



【土地利用状況図】

(3) 王子公園の施設概要及び課題

① 施設概要



その他施設	②	③	④	⑤	⑦
	ちびっこ広場	弓道場	わんぱく広場	北獣舎(動物園)	旧ハンター住宅
	⑧	⑨	⑩	⑬	⑯
	補助競技場	相撲場	神戸登山研修所	神戸文学館	原田児童館

② 課題

■施設が老朽化しており、時代の変化への対応も求められています。

- ・ 供用後 70 年が経過した施設もあるなど、全体的に老朽化が顕著です。
- ・ 老朽化とともに現在のバリアフリー基準に適合していない施設があります。
- ・ 動物園では、開園当初からの獣舎が一部残るなど施設が老朽化していることに加え、展示方法や近年高まっている動物福祉の向上の観点からも改善が求められています。

■利便性が高い文教エリアのポテンシャルを十分に活かせていません。

- ・ 総合公園でありながら利用者が限定される施設が多く、一般に開放された空間が点在しているうえに、利用期間が限られている施設もあり、憩い、くつろげる空間が多くありません。
- ・ 駅に近い南東部や南北通路が駐車場として使われています。
- ・ 交通至便な文教エリアとして、持続可能な神戸の発展に資する新たな価値の創出が求められます。

2. 再整備の意義

(1) 上位計画等

『神戸 2025 ビジョン (令和 3 年 4 月)』において、市民一人ひとりが安心安全で心豊かに幸せを実感できる生活を享受でき、将来を担う若者が輝き、活躍できる持続可能な社会を築く「海と山が育むグローバル貢献都市」をめざしています。

また、令和 4 年 6 月 7 日に閣議決定された「骨太の方針 2022」では、「創造性を発揮して付加価値を生み出していく原動力は人である」として、「人への投資」の拡大に向けて「未来を支える人材を育む大学等の機能強化」を図るとされています。

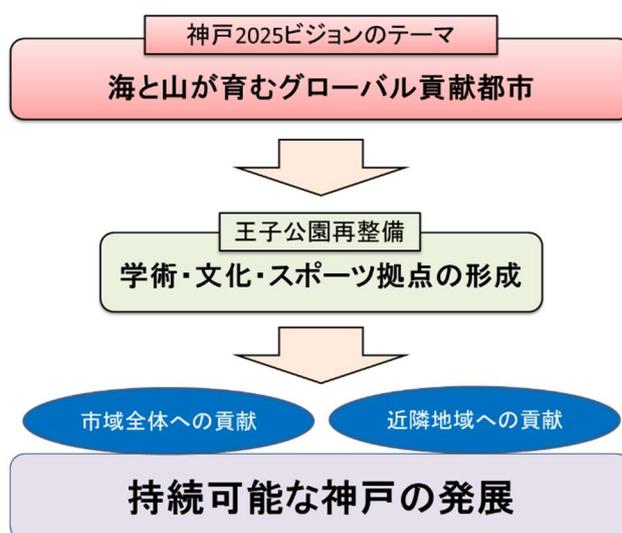
(2) 王子公園再整備の意義・効果

王子公園は阪神間を代表するエリアにあり、若年定住・交流人口の増加や都市ブランドの向上を図り、持続可能な神戸の発展を実現するためには、その高いポテンシャルを活かすことが不可欠であり、王子公園再整備は極めて重要な役割を果たします。

再整備により、文教都市・神戸としての地位を高め、王子公園エリアの新たな価値を創出するためには、大学誘致は最も有力な施策であり、これは、神戸の将来を牽引する優秀な人材の確保・育成・輩出の点からも重要です。一方、少子化が進む中でも学生が確保しやすい大都市中心部への立地志向が高まっており、大学の「都心回帰」が進んでいます。大学や学生のニーズを取り込み、質の高い競争力のある大学を誘致することにより、イノベーション機能の強化、産学連携による地元企業の成長、スタートアップ強化による雇用創出など、神戸市民の所得を向上させ、新たな雇用の場を創出するとともに、地域コミュニティにおける担い手不足の解消など学生による社会貢献、学びなおし（リカレント教育）の機会の提供などが期待できます。

また、王子公園など神戸市内の大規模公園のあり方を定めた『大規模公園ビジョン(令和 3 年 3 月)』では、「みんなに愛されるゆとり空間の創出と充実」や「持続可能な公園運営を実現するための改革と連携」などの基本方針を定めており、持続可能で魅力的な公園にリノベーションすることも重要です。さらに、市民の健康増進、スポーツ振興の観点から、市域全体としてスポーツ施設の魅力を高めていきます。

再整備にあたっては、古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する美しい景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承します。あわせて、新たな交流機会の創出など地域の賑わいづくり、地域商業などの活性化・経済効果などにより、周辺住民の生活の質の向上を図り、王子公園再整備が「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たしつつ、「グローバル貢献都市の実現」を牽引していきます。



3. 再整備の基本目標とゾーニング

(1) 5つの基本目標

① 新たな「原田の森」の創造

- ・1204年に王子神社が建立されて以来、育まれた歴史や文化を踏まえ、王子公園再整備にあわせて新たな「原田の森」の創造を目指します。

② 学術・文化拠点のシンボルの創出

- ・神戸にふさわしい、そして王子公園の地にふさわしい国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致します。
- ・周辺文化施設・教育施設と誘致する大学との連携により、学術・文化拠点としての機能強化を図ります。

③ 王子動物園の魅力向上

- ・交通至便な駅前の立地特性を生かし、これまで通り市民が身近に楽しめる魅力ある動物園として現在の場所でリニューアルします。
- ・動物福祉にも十分配慮した新たな展示方法等を導入するなど、老朽化した獣舎を再編・再整備するとともに、動物園にふさわしいレクリエーション機能も備えた動物園とします。
- ・動物園に求められる役割である「種の保存」「調査研究」「環境教育」の公益的な役割が大きいことから、今後も公の施設として神戸市が責任をもって運営します。

④ 公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上

- ・緑豊かで桜の名所として親しまれている自然環境や景観の保全、市民の憩いやスポーツ・子どもたちの学びや成長の場としての利用など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れ日常的に使うことのできる、居心地の良い、ゆとりある空間づくりを目指します。
- ・公園のエントランスに「(仮称)緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張し、より開放的な公園とします。
- ・アメリカンフットボールなど多種多様な競技や地域イベント等の様々な用途に対応できるスタジアムを整備するなど、本格的な競技から体力づくりまで幅広い運動ニーズに対応できる施設づくりをめざします。

⑤ 広域防災拠点の機能強化

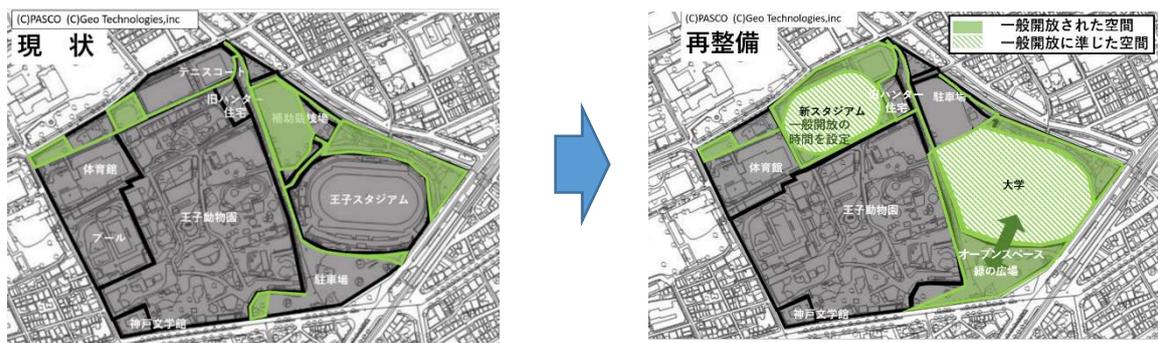
- ・避難場所や災害活動の拠点として各施設を充実させることで、広域防災拠点の機能強化を図ります。

(2) ゾーニング

誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大すること、ゾーン間の物理的つながりと視覚的な拡がり確保することを重視し、公園全体の一体感の醸成と回遊性の向上を図ります。また、多目的な広場をバランスよく配置し、誰もが使いやすい、より開放的な公園として再整備することを目指します。



ゾーン名称	ゾーニングの考え方
動物園ゾーン	位置を大きく変更することなく現在と同程度の敷地面積を確保
大学ゾーン	キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となることで、開放感のある魅力的な空間を創出できることから、緑の広場に隣接して配置
スポーツゾーン	既存の体育館や弓道場が立地する王子公園北側に施設を集約することで、空間的にも機能的にも使いやすいエリアを創出
緑の広場	王子公園駅に隣接する利便性の高い場所にある現在の平面駐車場の配置を見直し、開放的な空間として駅前に整備
シンボルプロムナード	緑の景観軸として、緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶシンボルプロムナードを整備し、快適な歩行者動線を確保
駐車場	補助競技場の位置に立体化して集約するとともに、公園東側の現在の遊歩道部に駐車場への進入路と魅力的な歩行者空間を確保



【一般に開放された空間のイメージ】

4. 再整備による各施設の方向性

各施設の利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内外で再整備、代替・機能確保を図るとともに、機能の集約化や運用の工夫により、市民のみなさまの利用ニーズに応えられるよう、出来る限り従前施設の機能を確保します。

整備にあたっては、樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化などにより、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう配慮します。

また、防災機能について、新たに整備するスタジアムや緑の広場、既存の体育館など各施設の機能分担・連携を図り、へり離発着機能、災害時の物資の集積・備蓄機能、応急給水拠点、緊急車両用の通路など、従前の機能の維持・向上を図ります。

施設	方針	内容
動物園(獣舎等)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保 新たな展示方法等の導入など魅力の向上 動物福祉を考慮した施設の更新 市が公の施設として責任を持って運営
動物園(遊園地)		
駐車場	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に立体駐車場を整備 壁面緑化や植樹などにより、周辺環境や六甲山系の山並みに配慮 建物の高さやデザインなどを工夫することにより、圧迫感を軽減 屋上の一部をスポーツゾーンとして活用
大学	新設	<ul style="list-style-type: none"> 国際性や多様性を高める特色のある大学を誘致 グローバル人材の育成という観点から、競争力の高い大学を誘致 学生の社会貢献、学びなおし(リカレント教育)等の機会を創出 緑の広場と一体となったキャンパスにより、開放的な空間と魅力的な景観を形成
スタジアム (フィールド) (トラック)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> アメリカンフットボールなど多種多様な競技や地域イベント等の様々な用途に対応できるフィールドを整備 練習用400mトラック(4レーン)を整備 フィールド・トラックともに一般開放の時間帯を設定 騒音や照明について近隣住民に配慮した設備や運用を検討
補助競技場	機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 公園内で、ラジオ体操やジョギングなどを行える機能を確保 緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に利用できる広場を整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定
プール (50m・25m)	廃止 (園外施設の充実)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の公営プールの立地状況を踏まえ、新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進
プール(幼児用)	機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 緑の広場に水遊びができる親水施設を新設
テニスコート	代替	<ul style="list-style-type: none"> 市内の立地状況等を踏まえ、ポートアイランドに新たに6面新設
	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 近隣利用を踏まえ、王子公園内(スポーツゾーン)に2面整備
緑の広場	新設	<ul style="list-style-type: none"> 現在の駐車場の位置に「緑の広場」を整備 「シンボルブロード(大きな遊歩道)」と一体となり、各ゾーンの結節点となる新たな緑地軸・景観軸を形成 ラジオ体操や地域活動、大学との交流に活用できる多目的な芝生広場、遊具、親水空間、にぎわい施設などを設置
ちびっこ広場	再整備	<ul style="list-style-type: none"> スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実(体力向上にもつながる新たな遊具、多目的に利用できる広場等)
わんぱく広場		
相撲場	廃止 (市内施設の活用)	<ul style="list-style-type: none"> 王子公園外の既存施設を有効活用
登山研修所 (クライミング施設含む)	再整備	<ul style="list-style-type: none"> 他のスポーツ施設との一体的利用が見込めるスポーツゾーン内へ再配置
体育館 弓道場 旧ハンター住宅 神戸文学館 原田児童館	存続	<ul style="list-style-type: none"> 適時必要な方策を検討

再整備 : 王子公園内に従前の施設をリニューアルするもの

代替 : 王子公園外に従前と同等の施設を確保するもの

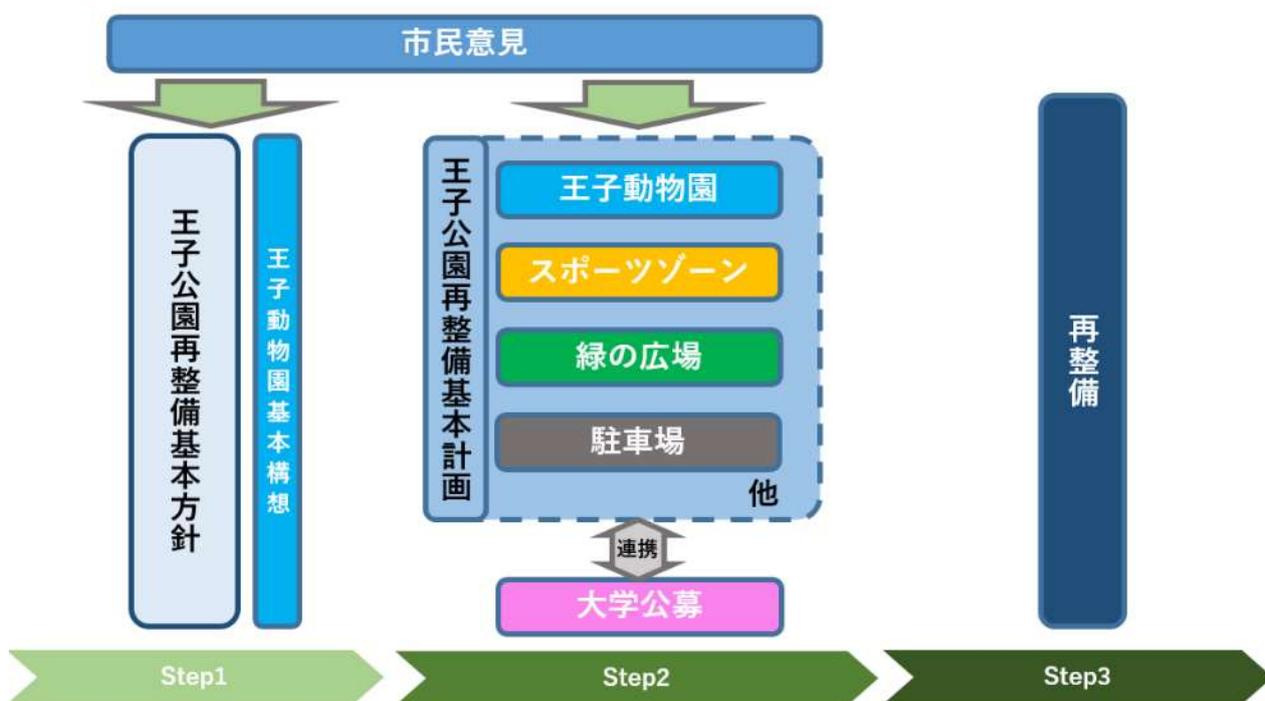
機能確保 : 王子公園内に概ね従前の機能を確保するもの

5. 再整備の進め方

「王子公園再整備基本方針」は、再整備の基本目標やゾーニングなどを示すものです。

基本方針に基づき、各施設の具体的な整備内容やデザイン、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定する予定です。

基本計画策定にあたっては、これまで市民のみなさまからいただいたご意見を含め、改めてご意見を伺いながら、動物園やスポーツゾーン、緑の広場など、施設ごとに検討を深めていきます。



【進め方のイメージ】

6. 参考

(1) 王子公園の概要

名称（公園名）	王子公園
種別	都市公園 総合公園
所在地	神戸市灘区王子町2、3丁目、青谷町1丁目
面積	191,500 m ² （供用区域）
設置年月日	昭和25年1月20日
防災施設	兵庫県指定「ヘリコプター臨時離着陸適地」、 地域備蓄拠点、防災行政無線、災害時給水拠点ほか

(2) 施設の管理・運営

園内施設の管理・運営状況としては、市が直接運営している施設や指定管理者制度を導入している施設のほか、市から管理許可・設置許可・管理委託を受け、個別の団体が管理している施設があります。

管理・運営 形態	直営	指定管理	設置許可 管理許可	管理委託
施設名	動物園（遊園地除く） 王子公園 駐車場 児童館周辺園地	体育館 スタジアム プール テニスコート 相撲場 補助競技場 わんぱく広場 ちびっこ広場 神戸文学館 <国登録有形文化財> 原田児童館	遊園地 弓道場 （近的・遠的） 王子スポーツセン ター駐車場 （北側・南側） 神戸登山研修所 （クライミング施設含む）	旧ハンター住宅 <国指定重要文化財>

(3) 施設の利用状況

(年間利用者数：人)

利用者数	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
王子動物園	1,107,212	1,087,562	1,044,659	645,893	738,512
スポーツセンター (体育館・柔剣道場)	175,653	183,226	163,333	99,485	112,130
スタジアム	87,393	76,186	78,270	49,698	62,458
補助競技場 (※1)	—	—	—	—	—
プール	38,462	34,647	29,738	5,609	8,317
テニスコート	32,768	32,037	27,006	22,579	27,090
相撲場	590	400	514	72	369
弓道場	27,229	28,574	26,703	15,850	21,958
登山研修所 (※2)	2,955	3,304	3,079	1,530	2,171
旧ハンター住宅	37,319	66,782	52,442	26,715	27,753
神戸文学館	20,680	21,922	21,272	15,276	14,949

(※1) 一般開放されているため全利用者数は把握していない。

(※2) クライミング施設の利用者数(会議室利用者を除く)

(4) 駐車場の整備台数

園内には駐車場が3か所あります。また動物園の繁忙期には、補助競技場を臨時の駐車場として運用しています。

駐車場名	駐車台数	料金
王子公園 駐車場 (※3)	【常時】普通車 390 台・バス 5 台 (普通車スペースに大型バス 駐車可) 【臨時】普通車 250 台(補助競技場)	0～2 時間までの 30 分につき 150 円 2～4 時間までの 30 分につき 100 円 4 時間を超える 30 分につき 50 円
王子スポー ツセンター	【北側】 57 台 【南側】 65 台	30 分毎 100 円 【最大】 21 時 30 分まで 1,100 円 翌 8 時 30 分まで 1,500 円 21 時 30 分～翌 8 時 30 分まで 1,100 円

(※3) 王子公園 駐車場の利用状況について (H30 年度実績)

臨時駐車場使用 (390 台超)：年間 68 日

満車 (640 台超)：年間 49 日

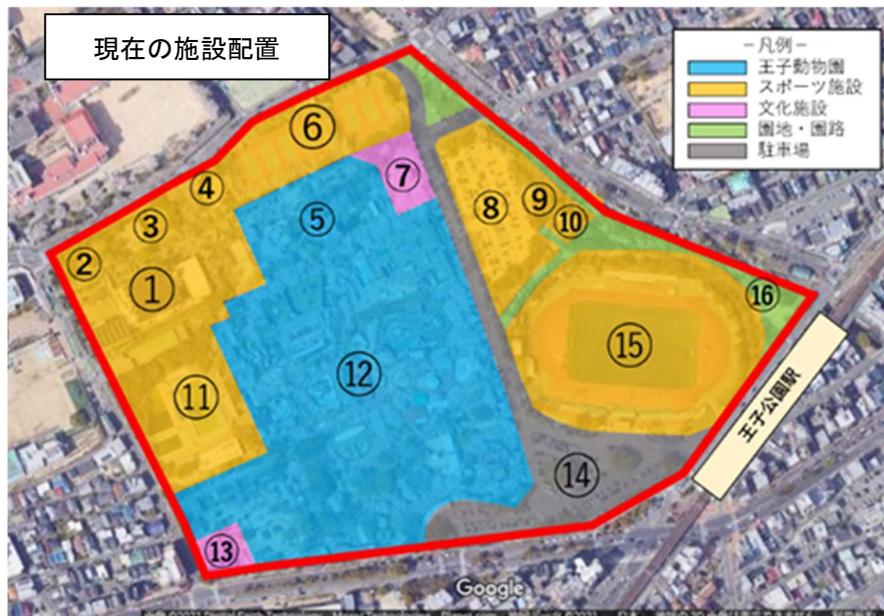
<各施設の見直しの方向性（一覧）>

施設	当初の素案	見直しの方向性		施設番号
		方針	内容	
動物園（獣舎等）	再整備	再整備	動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保	⑤⑫
動物園（遊園地）	廃止			
駐車場	再整備 (遊園地跡地)	再整備	動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に整備 屋上の一部をスポーツゾーンとして活用	⑭
大学	新設	新設	敷地面積を約4haから約3.5haに変更	-
スタジアム（フィールド）	再整備	再整備	フィールド及び練習用400mトラック（4レーン）整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑮
スタジアム（トラック）	廃止			
補助競技場	廃止	機能確保	緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に利用できる広場を整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑧
プール （50m・25m）	廃止	廃止 (園外施設の充実)	新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進	⑪
プール（幼児用）	廃止	機能確保	緑の広場に水遊びができる親水施設を新設	
テニスコート	廃止	代替	ポートアイランドに6面新設	⑥
		再整備	王子公園内（スポーツゾーン）に2面確保	
エントランス	新設	新設	「緑の広場」として位置づけを明確化	-
ちびっこ広場	存続	再整備	スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実 (新たな遊具、多目的に利用できる広場等)	②
わんぱく広場	廃止			④
相撲場	存続	廃止	王子公園外の既存施設を活用	⑨
登山研修所	存続	再整備	スポーツゾーン内へ移転新設	⑩
体育館	存続	存続	—	①
弓道場				③
旧ハンター住宅				⑦
神戸文学館				⑬
原田児童館				⑯

再整備：王子公園内に従前の施設をリニューアルするもの

代替：王子公園外に従前と同等の施設を確保するもの

機能確保：王子公園内に概ね従前の機能を確保するもの



《参考：ゾーニング》

■当初素案



■「各施設の見直しの方向性」を反映



王子公園再整備基本方針（素案）見直しに向けた市民との意見交換会の結果

1. **実施期間**：令和4年6月25日（土）～8月25日（木）
 2. **参加者等**：地域団体・商店街（5回）、一般公募（2回）、ネットモニター（1回）
 子育て世代（1回）、高校生（2回）

	日 時	参加 人数	班数	対 象
第1回	6月25日(土) 14時～16時	26名	4班	籠池・宮本エリア
第2回	6月25日(土) 18時30分～20時30分	32名	7班	
第3回	6月26日(日) 14時～16時	56名	9班	上野・摩耶・青谷・五毛エリア
第4回	6月28日(火) 18時30分～20時30分	44名	9班	原田・灘中央・岩屋エリア
第5回	7月4日(月) 18時30分～20時30分	17名	4班	商店街
第6回	7月14日(木) 18時30分～20時30分	60名	10班	一般公募（1回目）
第7回	7月24日(日) 14時～16時	38名	10班	一般公募（2回目）
第8回	7月26日(火) 18時30分～20時30分	10名	2班	ネットモニター
第9回	8月20日(土) 9時30分～10時30分	5名	1班	子育て世代
第10回	8月23日(火) 13時～14時	7名	2班	高校生
第11回	8月25日(木) 13時55分～15時15分	13名	3班	高校生
合 計		308名	61班	—

3. その他意見聴取

- (1) 王子公園再整備ホームページ上での意見募集（意見送信フォーム）

対 象：意見交換会に参加できなかった方など

実施期間：令和4年8月2日（火）～

実施方法：神戸市ホームページ

- (2) 子ども向けアンケート

対 象：小・中学生

実施期間：令和4年8月8日（月）～8月31日（水）

実施方法：王子動物園で配布・回収

- (3) 子育て世代向けアンケート

対 象：0～12歳までのお子さまの保護者

実施期間：令和4年8月5日（金）～8月22日（月）

実施方法：神戸市ホームページ（意見交換会参加者募集とあわせて実施）

4. 主な意見と対応方針

(1) 検討の進め方	64
(2) 再整備コンセプト・基本的な方向性、ゾーニング	66
(3) 大学	70
(4) 動物園	72
(5) スポーツ施設	74
(6) 駐車場	76
(7) 原田の森・景観・自然・緑・桜・環境	77
(8) 子どもの遊び場・緑の広場・オープンスペース	78
(9) 防災	80
(10) その他	80

(1) 検討の進め方

【ご意見等(1)-1】

- 地区の集会でワークショップを選んだ意図が疑問です。
- ワークショップの進め方にギモンです。
- 神戸市がなぜやろうとしているのかの意図をみんなで理解しなければ。

【対応方針等】

限られた時間の中で、より多くの参加者から意見をいただけるよう、グループに分かれて意見交換するワークショップ形式を採用しました。

また、ワークショップの際に、市の職員も各テーブルを回り、ご質問にお答えしたり議論に参加するなど、積極的にワークショップに関わることで、出来る限り直接市民との対話を行うよう努めました。

これにより、参加者が幅広い考え方に触れることでより充実した意見交換となり、より多くの参加者からより多くのご意見やご提案をいただくことができたと考えています。

【ご意見等(1)-2】

- もっと意見交換する場を。
- 機能別に意見交換会を設定すべき。
- 市外・県外の人意見もぜひきいて。
- 今回の意見をどのような形で発表してくれるのか？HP等で必ず共有して下さい。
- ネットではなく情報を全戸に広報として配布して欲しい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「5. 再整備の進め方」において、具体的な各施設の整備内容等を定める基本計画の策定にあたり、市民のご意見を伺いながら検討を深めていくことを明記しました。

意見交換会の説明資料、よくある質問と回答（FAQ）について、ホームページに掲載したほか、ミニニュースを発行し広報紙KOBEとともに全戸配布し、市民のみなさまと情報を共有し

ながら検討を進めました。

また、ホームページにご意見等の入力フォームをご用意し、意見交換会に参加していない市民等から広くご意見・ご提案をいただく機会を設けました。

【ご意見等(1)-3】

- 小中高生など、若い世代の意見も反映すべき。
- 高校生・大学生に意見はきかないのか。将来の子育て世代の話こそきいておくべき。
- 子育て世代こそ人口増定着へのポイントを教えてくれるはず。 →調査をしたことはありますか？
- 子育て世代に望みを問うてみる →再整備へのヒントになるはず。
- 昼間の意見会（動物園内・子供預かり・イベントありみたいな）。
- 広い世代を巻き込んで。

【対応方針等】

意見交換会を開催するにあたり、地域住民（地域団体を通じて募集）、幅広い市民（公募）のほか、ネットモニター、子育て世代、学生の皆さまにお声がけし、出来るだけ多様な方々にご参加いただけるよう努めました。また、子育て世代との意見交換会実施にあたっては、実施時間の短縮、子ども預かりなどを行いました。

ご意見を踏まえ、小中学生を対象としたアンケートも実施しました。

【ご意見等(1)-4】

- ワークショップでの意見はちゃんと吸い上げてほしい。
- 大学の誘致も含めた、計画の見直しはあるのか。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、大学誘致の必要性や王子公園再整備が目指すべき基本目標等を改めて検討した結果として、修正素案「2. 再整備の意義」において、王子公園再整備や大学誘致の意義・効果を、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「新たな「原田の森」の創造」「王子動物園の魅力向上」など5つの基本目標やゾーニングの基本的考え方等を明記しました。

また、スポーツ施設の利用状況や全市的な配置状況などを踏まえ、園内施設の再整備、代替・機能確保を再検討し、当初の素案でお示した「(参考) 再整備による各施設の扱い」を大きく見直した上で、「4. 再整備による各施設の方向性」において、施設毎の整備方針等を明記しました。

修正素案「5. 再整備の進め方」において、今後、基本計画策定にあたっては、これまで市民のみなさまからいただいたご意見を含め、市民の意見を伺いながら検討を深めていくことを明記しました。

【ご意見等(1)-5】

- 大学が必要か必要ないかを先に決めてほしい。

【対応方針等】

ご指摘のとおり、大学誘致を含めた再整備の方向性と大まかな施設配置（ゾーニング）等を検討したうえで、まず「再整備基本方針」を策定する予定です。

「再整備基本方針」で大学誘致の必要性を明確にした後に、動物園やスポーツゾーン、緑の広場など、施設ごとに整備内容や事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定することとしています。

【ご意見等(1)-6】

- 大学誘致の説明をもっとしてほしい。
- 全体的な流れとして、同じ話の繰り返し。他でも一度話した内容が再びこの場で話されている。
- 大学反対の理由の把握を市はできているのか？（自分は反対でも賛成でもない。反対の理由を言う人がいないので、なぜ反対するのかを知りたい）

【対応方針等】

令和3年12月～令和4年1月にかけて実施した市民意見募集において大学誘致に関して多くの意見が寄せられました。また、それらのご意見には「大学誘致のため既存施設を廃止する方針には反対」「少子化の時代に大学誘致は疑問」「目的効果が不明」といった大学誘致を疑問視する理由が添えられていました。

これらのご意見・理由を踏まえ、意見交換会において、各施設の見直しの方向性（再整備、代替・機能確保）、大学の都心回帰に伴う立地ニーズの高まり、経済波及効果の試算結果などをお示したところ です。

また、意見交換会で改めて同様のご意見をいただいたことから、大学誘致を含め、よくある質問と回答（FAQ）として、よりわかりやすく整理した市の考え方をホームページに掲載したほか、代表的なFAQについて、ミニニュースを発行し広報紙KOBEとともに全戸配布しました。

ご意見を踏まえ、大学誘致の必要性等を改めて検討した結果として、修正素案「2. 再整備の意義」において、王子公園再整備や大学誘致の意義・効果を明記しました。

【ご意見等(1)-7】

- 整備計画の賛否を問う（質問をし）てほしい。

王子公園再整備という政策案を形成するにあたり、市民の知恵を生かすことを目的として、幅広い世代の市民からご意見やご提案をいただいています。政策案に対して単純に賛否を問うものではありません。

(2)再整備コンセプト・基本的な方向性、ゾーニング

【ご意見等(2)-1】

- 老朽化しているので、リニューアルは必要である。再整備自体は必要。
- 老朽化しているものを更新するだけでいいのでは？

- 施設の本来持っている目的（スポーツ・動物園・公園・市民の体力UP）を変えないでほしい。
- 王子動物園を民間に売り渡す計画はあるのか？
- 王子公園は神戸中心に近い一等地であり今のようなダメな使い方（費用対効果）はこの機会に見直すべき。
- 原田の森のイメージを大切に残してほしい。
- 今まであった文化がなくなるのはだめ。
- 都会だけど自然環境がよい、古き味のある環境こそ、神戸・王子公園の「売り」。
- 新しいものと古いものが共存した魅力あるものに。
- 利用者の対象の範囲をどう考えているのか？
- このエリアは「地元のものと考えている」人が多いが、外部の人も愛着はあるので今回のワークショップは参加ができてよかった。
- 王子公園ひいては、灘区のまちブランド向上。
- 歴史的にみても変えていかないと発展しない。
- 王子公園と周辺エリアの50年先を見すえた再整備を進めてほしい。
- 30年～50年とはいわず100年を考えた森と公園。
- 進化していかないとまちが衰退していく。

【対応方針等】

ご指摘のとおり、王子動物園をはじめとする公園内の施設が老朽化しており、時代の変化への対応も求められていることについて、修正素案「1. (3)②課題」に明記しました。あわせて、利便性が高い文教エリアのポテンシャルを十分に活かし、持続可能な神戸の発展に資するため新たな価値を創出することが不可欠であることを明記しました。

ご意見を踏まえ、大学誘致の必要性や王子公園再整備が目指すべき基本目標等を改めて検討した結果として、修正素案「2. 再整備の意義」において、王子公園再整備や大学誘致の意義・効果を、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「新たな「原田の森」の創造」「王子動物園の魅力向上」など5つの基本目標やゾーニングの基本的考え方等を明記しました。

また、動物園は今後も公の施設として市が責任をもって運営する旨を明記しました。

【ご意見等(2)-2】

- 現在の整備案では、かなり窮屈に感じる→ゆとりを持った場所にしてほしい。
- 総合公園としての役割と地域の拠り所としての役割を分けて整理。
- 原案はスポーツ施設が主になっているが、運動以外も楽しめる施設がほしい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、「2. 再整備の意義」において、大規模公園ビジョンの基本目標「みんなに愛されるゆとり空間の創出と充実」等を目指し魅力的な公園にリノベーションすることを、「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れ日常的に使うことのできる、居心地の良い、ゆとりある空間づくりを目指すこと」「誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大すること」などを明記しました。

【ご意見等(2)-3】

- 大学誘致—大学誘致なし の2プランを検討してほしい。
- 駅前の一等地のよりよい活用方法があるのでは？
- 大学の代わりに図書館が欲しい。
- 大学を増やすことと働く場を一緒に考えるべき。または誘致自体を見直してほしい（大学生の確保）。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、大学誘致の必要性や王子公園再整備が目指すべき基本目標等を改めて検討した結果として、修正素案「2. 再整備の意義」において、王子公園再整備や大学誘致の意義・効果を明記しました。

再整備により、王子公園エリアの新たな価値を創出するためには、大学誘致は最も有力な施策であり、産学連携による地元企業の成長、スタートアップ強化による雇用創出なども期待できます。

【ご意見等(2)-4】

- 子育てに魅力を感じる地域にして欲しい。
- 子供たちの未来を考える。子供たちのためにできること。
- 一般開放された「子どもの空間」が少ない。
- 子供たちが、文化・芸術など高い質の学べる公共的な場所（にして欲しい）。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「③王子動物園の魅力向上」として、「市民が身近に楽しめる魅力ある動物園」「動物園にふさわしいレクリエーション機能」を、「④公園とスポーツ施設のリノベーション」として、「子どもたちの学びや成長の場としての利用」「緑の広場を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張」などを明記しました。

【ご意見等(2)-5】

- 「域内外の人の目的が明確な利用」と「域内の人の目的が不明瞭な日常使い」があるが後者が抜けがち。
- 地域の人にも意識をもって、地域でレベルアップしていく。
- 公園の存在価値を高めることを最優先されたい。
- 市民のメリットは何か？税金？暮らし？定量的に説明してほしい。市民が望んでいる王子公園は何かを重要視されたい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「王子公園の高いポテンシャルを活かすこと」「王子公園エリアに新たな価値を創出すること」「持続可能で魅力的な公園にリノベーションすること」「市民の健康増進、スポーツ振興の観点から、市域全体としてスポーツ施設の魅力を高めていくこと」「地域の賑わいづくり、地域商業などの活性化などにより、周辺住民の生活の質の向上を図ること」「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たすこと」を明記しました。

【ご意見等(2)-6】

○プール、テニスコートは廃止、弓道場は残すのはなぜか？わかりやすい理由を知りたい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、「4. 再整備による各施設の方向性」において、スポーツ施設の再整備、代替・機能確保など出来る限り従前施設の機能を確保することを明記しました。

各施設の方向性の提案にあたっては、「施設の老朽度で今後どの程度継続して使用できるかどうか」「全市的な施設の配置状況や利用状況を踏まえ、代替施設となる同種の施設が市内や近隣に一定あるかどうか」「王子公園全体のあり方の中での優先順位」などの観点に加え、市民意見募集等でのご意見を踏まえて検討しました。

【ご意見等(2)-7】

○過去にそういう事例があるのか聞きたい（都市公園に大学を呼ぶことについて）。

【対応方針等】

近年の事例では、堺市において都市公園の一部を廃止し、大学（医学部及び附属病院）を移転する計画が進められています。

【ご意見等(2)-8】

○全体の予算・財源をしめして。

○各施設の利用者数と収支を知りたい。

○無くすもの、残すものにそれぞれいくらかかっているということが明示されないので、判断ができない。

○何がどれくらい老朽化していて、どの程度の修繕が必要なのかわからない。

○整備にかかる費用に大学誘致が必要では？

○公園用地は大学への土地提供は、「売る」のか「貸す」のかを明確にしてほしい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「6. 参考」として、施設の管理・運営状況や利用状況など、現在提示できる情報を掲載しました。

修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容等については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していく予定であり、各施設の整備内容の検討にあわせて事業費等について検討を行っていきます。

なお、誘致する大学に求める施設や機能、土地の処分方法（売却か賃貸か等）については、今後大学公募に向けて検討を進めていく予定です。

【ご意見等(2)-9】

○推進を加速すべき。今のままではいつ完成するのか見えない。

【対応方針等】

再整備効果の早期発現のため、基本方針および基本計画の策定を迅速に進め、できるだけ早く事業に着手することを目指しています。

ご意見を踏まえ、修正素案「5. 再整備の進め方」において、基本方針に基づき、事業全体のスケジュール等を定める基本計画を策定することについて、明記しました。

(3) 大学

【ご意見等(3)-1】

- 大学建設は良いが原田の森の良さを壊さないことを望む。
- 自然環境・景色を守ったうえで大学を建てて欲しい。
- 大きな公園の中に大学の建物がある。自由に出入りできるそんな森。
- 誘致する大学は決まっているのか？
- 大学が入るエリアは開放に準じた場所とされているが、大学は対応できるか。
- 大学誘致のプロセスや根拠を教えてください。
- 学識経験を入れて検討。
- 大学の建物の高さの規制は？景観が気になります。高すぎるのはだめ。
- 大学にはしっかりと条件を出して誘致する。
- 質の高い大学が来てほしい。
- 地域住民も大学の施設を利用できるように。
- 学生がいっぱい集まるのは不安。
- 風紀、防犯の心配があるから大学反対。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する景観を大切に守りながら」を、また、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「歴史や文化を踏まえた「原田の森」の創造」「キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となることで、開放感のある魅力的な空間を創出」を、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、「樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化などにより、公園全体として六甲山の山並みと調和した良好な景観を維持・創出できるよう配慮」を明記しました。この点については公募の中で大学側にも求めていきます。

なお、王子公園は第5種高度地区となっており、建築物の高さは最大31mに制限されています。

基本方針策定後、大学公募を行う予定であり、修正素案「5. 再整備の進め方」において、基本計画とあわせて検討を進めていく旨を明記しました。

公募にあたっては、神戸にふさわしく、そしてこの王子公園の地にふさわしい大学を誘致したいと考えており、今後有識者等のご意見も踏まえながら、大学に求める施設や機能を含め、公募条件を検討していきます。

【ご意見等(3)-2】

- 大学は不要です。

- 大学ゾーンは公共的な物に。
- 大学を不要と考える。少子化で大学が淘汰される中何故？
- 大学はいっぱいある。今ある大学連携でよいのでは？
- 今ある大学の質を上げる。
- 大学は①ポートアイランド②センタープラザ③アスタくにつか④学園都市に。
- 灘区、中央区での人口は増えているが新長田はどうか
- このイイ土地を大学に渡したくない。家族みんなで使える。
- 大学誘致の必要性が、何度聞いてもわからない。
- 便利な場所ほど若者は住まずに通うので、大学誘致が若者人口増やすことにならない。
- 大学誘致はどのように市民に還元されるのか？経済対策もよくわからない。
- 直接効果 90 億円、総合効果 135 億円の算出根拠がわからない。
- 大学が来ることで、地域の活性化が期待できるのか。地域とかけ離れた存在になるのではない
か。
- 他府県の大学に進学してた時、学生ボランティアが貢献してた。学生と地域社会の絆が深まる。
- 活性化や経済効果が期待できる。
- 大学は、大賛成。常に若い世代がいて新陳代謝が行われる。
- 学生が地域に出て行って地域貢献する。
- 大学が出来ることよっての経済効果を数字で示してほしい。
- 神戸市全域の経済効果は？
- 大学誘致したその後のことは、何も考えていないと思います。

【対応方針等】

令和3年12月～令和4年1月にかけて実施した市民意見募集において大学誘致に関して多くの意見が寄せられました。また、それらのご意見には「大学誘致のため既存施設を廃止する方針には反対」「少子化の時代に大学誘致は疑問」「目的効果が不明」といった大学誘致を疑問視する理由が添えられていました。

これらのご意見・理由を踏まえ、意見交換会において、各施設の見直しの方向性（再整備、代替・機能確保）、大学の都心回帰に伴う立地ニーズの高まり、経済波及効果の試算結果などをお示したところです。

また、意見交換会で改めて同様のご意見をいただいたことから、大学誘致を含め、よくある質問と回答（FAQ）として、よりわかりやすく整理した市の考え方をホームページに掲載したほか、代表的なFAQについて、ミニニュースを発行し広報紙KOBEとともに全戸配布しました。なお、ホームページに掲載したFAQでは、経済効果算出を報告した文献などもご覧いただけます。

ご意見を踏まえ、大学誘致の必要性等を改めて検討した結果として、修正素案「2. 再整備の意義」において、「王子公園の高いポテンシャルを活かす」「王子公園エリアに新たな価値を創出」「地域コミュニティにおける担い手不足の解消など学生による社会貢献」「学びなおし（リカレント教育）の機会の提供」など、王子公園エリアに大学を誘致する意義を明記しました。

【ご意見等(3)-3】

○現在駅に近いスタジアムが駅から遠くなり、新しく来る大学が駅に近い配置になっているのは何故か。より市民が使いやすい動線にすべきでは。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、スタジアムを現在の位置で再整備しその北側に大学を設ける配置も含め、比較検討を行いました。「一般開放された空間」「各ゾーンの形状」「駐車場の進入路」について評価した結果、

- ・大学キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となり、開放感のある魅力的な空間を創出できる。
- ・公園全体に南北バランスよく一般開放された空間が生まれる。
- ・進入路による公園内に分断感が生じない。
- ・スポーツゾーンと大学ゾーンの敷地が整った形状となり、効率的な施設配置・施設の複合利用が可能となる。

ことから、修正素案で示すゾーニングが最適であると考え、改めて提案しています。

【ご意見等(3)-4】

○大学を作るには面積が狭いのではないか。

【対応方針等】

修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」に示すとおり、大学ゾーンの面積は約3.5haです。一つの目安ですが、文部科学省の大学設置基準（一人当たり面積10㎡）を参考にすると、3,500人規模の大学を誘致することは可能と考えています。

なお、市が大学誘致を表明して以来、複数の大学から問い合わせをいただいております。大学側にとって修正素案に示す大学ゾーンへの立地は非常に関心が高いものと考えています。

(4) 動物園

【ご意見等(4)-1】

- 現在の地で再整備することになった。ありがたい。
- 動物園の集客は、商店街にもつながる。
- 動物園のリニューアルは必要です。その際、動物にふさわしい園舎を作ることが必要です。
- もっと動物を増やして。
- 動物が少なくなってきたので守ってほしい。
- 子供も大人も楽しめる動物園に再整備。
- 王子動物園を広げて（駐車場の部分）もっと魅力的にしてほしい（集客できるように）。
- 孫子の代まで親しみやすい動物園。
- 動物の見せ方（展示の仕方）今はいろんなところでいい例があるので参考にしたい。
- 動物の特性を活かした面白い展示。
- 動物園内屋根付きの休憩所を四方にバランスよく設置してほしい。

- 気軽に入れる王子動物園にしてほしい(入場料、施設など)。
- 動物園は民営化しないで、市営でお願いします。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「③王子動物園の魅力向上」として、「市民が身近に楽しめる魅力ある動物園へのリニューアル」「動物福祉に配慮した展示方法の導入」「今後も公の施設として市が責任をもって運営」などを、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、「動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保」を明記しました。

修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容等については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

なお、再整備に伴う料金の引き上げは考えていません。

【ご意見等(4)-2】

- 遊園地はランドマークとして大切にしてほしい。
- 遊園地はコストがかかるので無くす選択もあり。
- 遊園地も小さい子どもたちが遊べる遊園地として遊具を新しくして整備してほしい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、「動物園と遊園地をあわせて同程度の敷地面積を確保」を明記しました。

なお、遊園地の施設は老朽化が進んでおり、見直しは必要と考えています。動物園内には子供たちの遊べる施設が必要と考えているため、現在の遊園地施設へのみなさまの愛着にも配慮しながら、動物園にふさわしいレクリエーション機能のあり方を検討します。

【ご意見等(4)-3】

- 動物園そのものが動物に対してはかわいそうである。
- 動物にとって幸せになる面積が必要。
- 動物ファーストの動物園作りをしてほしい。

【対応方針等】

動物園には、地球規模で野生動物の絶滅が進むなど、生物多様性の損失が深刻化している状況下にあって、動物の命を守りつなぎ、環境保全の重要性などを教育し、調査研究で得られた知識や技術を野生動物の保全に活かす役割が求められています。

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「③王子動物園の魅力向上」として、「動物福祉に十分配慮」「動物園に求められる役割である「種の保存」「調査研究」「環境教育」など」を明記しました。

できるだけ野生での生活に近い行動を引き出すことを目指した「環境エンリッチメント」など、動物にやさしく動物が生き生きと過ごせる環境を創出したいと考えており、修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

(5) スポーツ施設

【ご意見等(5)-1】

- 老朽化した施設をきれいにしてほしい。
- 公式試合ができるスタジアムできないの？
- 新スポーツゾーンは光害、騒音公害 地域住民に迷惑。
- スタジアムはサッカーやいろんなスポーツができるから良い。
- 子供の体力向上のため、自由に思いっきり走り回れるグラウンド開放希望。
- スタジアムができるのは良いがみんなが使えるのか不安。
- スポーツゾーンにトラックはいるのか？他でまかなえないか？
- みんなが使えるような施設を作って欲しい。
- 大きな屋内施設を作って全体的に考えてほしい。
- 親子3代が楽しめる生涯スポーツ推進特区のようなものを用意しては。
- 基本案は既存施設の近代化。運営の最適化等による次世代への継承。
- バスケコート（を設置して欲しい）。
- ボルダリング施設（を設置して欲しい）。
- インラインスケート（を設置して欲しい）。
- パデル（パデル＝テニスとスカッシュを合わせたようなラケット競技）（を設置して欲しい）。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「市民の健康増進、スポーツ振興の観点から、市域全体としてスポーツ施設の魅力を高めていくこと」を、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「④公園とスポーツ施設のリノベーション」として、「市民の憩いやスポーツ・子どもたちの学びや成長の場としての利用」「多種多様な競技や地域イベント等の様々な用途に対応できるスタジアム整備」「本格的な競技から体力づくりまで幅広い運動ニーズに対応」を、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、スタジアムについて「練習用400mトラック(4レーン)を整備」「一般開放の時間帯を設定」「騒音や照明について近隣住民に配慮した設備や運用を検討」を、また、ちびっこ広場・わんぱく広場について「スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実（体力向上にもつながる新たな遊具、多目的に利用できる広場等）」などを明記しました。

修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

【ご意見等(5)-2】

- 王子プールもリニューアルして残してほしい。
- 屋内プールにしてほしい。
- 室内プールを作るのにいくら掛かるのか、予算を出して欲しい。
- プールは利用する人が少なくなっている。

【対応方針等】

各施設の方向性の提案にあたっては、「施設の老朽度で今後どの程度継続して使用できるかどうか」「全市的な施設の配置状況や利用状況を踏まえ、代替施設となる同種の施設が市内や

近隣に一定あるかどうか」「王子公園全体のあり方の中での優先順位」などの観点に加え、市民意見募集等でのご意見を踏まえて検討しました。

プールについては修正素案「1. (3)②課題」において明記している「利用期間が限られている施設」であり、また、「4. 再整備による各施設の方向性」において、プール(50m・25m)については、「市内の公営プールの立地状況(市営の屋内プールは中央区2か所、須磨区1か所、北区1か所)を踏まえ、新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進」を、また、幼児用プールについては、「緑の広場に水遊びができる親水施設を新設」と明記しています。

【ご意見等(5)-3】

- テニスコートは今も予約が取れないぐらい利用されており、縮小はありえない。
- ポートアイランドにテニスコートとありますが代替になると思わない。

【対応方針等】

各施設の方向性の提案にあたっては、「施設の老朽度で今後どの程度継続して使用できるかどうか」「全市的な施設の配置状況や利用状況を踏まえ、代替施設となる同種の施設が市内や近隣に一定あるかどうか」「王子公園全体のあり方の中での優先順位」などの観点に加え、市民意見募集等でのご意見を踏まえて検討しました。

その結果、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「市内の立地状況等を踏まえ、ポートアイランドに新たに6面新設」「近隣利用を踏まえ、王子公園内(スポーツゾーン)に2面整備」を明記しました。

【ご意見等(5)-4】

- サブグラウンドを歩いている地域の人がいる。それは体力増進、健康のために運動をしているので場所を確保して欲しい。なくなったら高齢者は病気になる。
- サブグラウンド毎朝楽しみに体操をしている老人の楽しみを取らないで。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「公園内でラジオ体操やジョギングなどを行える機能を確保」「多目的に利用できる広場を整備」「スタジアムで一般開放の時間帯を設定」を、また、緑の広場として「ラジオ体操や地域活動、大学との交流に活用できる多目的な芝生広場、遊具、親水空間、にぎわい施設などを設置」を明記しました。

【ご意見等(5)-5】

- 六甲山登山研修所：神戸の資産、研修所がなくなると安全登山の確保ができなくなる。六甲山を楽しむ拠点になってほしい。
- (相撲場) 駐車場のために移らない(廃止含む) とダメなのか? なくなる理由の説明が足りない。

【対応方針等】

各施設の方向性の提案にあたっては、「施設の老朽度で今後どの程度継続して使用できるか

どうか」「全市的な施設の配置状況や利用状況を踏まえ、代替施設となる同種の施設が市内や近隣に一定あるかどうか」「王子公園全体のあり方の中での優先順位」などの観点に加え、市民意見募集等でのご意見を踏まえて検討しました。

修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、登山研修所について、「他のスポーツ施設との一体的利用が見込めるスポーツゾーン内に再配置」を、相撲場について、「王子公園外の既存施設を有効活用」を明記しました。

あわせて、「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、現在の駐車場を緑の広場等に再編し、当該場所及び「補助競技場の位置に立体化して集約するとともに、公園東側の現在の遊歩道部に駐車場への進入路と魅力的な歩行者空間を確保」を明記しています。

【ご意見等(5)-6】

○スポーツ施設と大学を入れ替えたほうがいい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、スタジアムを現在の位置で再整備しその北側に大学を設ける配置も含め、比較検討を行いました。「一般開放された空間」「各ゾーンの形状」「駐車場の進入路」について評価した結果、

- ・大学キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となり、開放感のある魅力的な空間を創出できる。
- ・公園全体に南北バランスよく一般開放された空間が生まれる。
- ・進入路による公園内に分断感が生じない。
- ・スポーツゾーンと大学ゾーンの敷地が整った形状となり、効率的な施設配置・施設の複合利用が可能となる。

ことから、修正素案で示すゾーニングが最適であると考え、改めて提案しています。

(6) 駐車場

【ご意見等(6)-1】

- 立体駐車場、景観を損なわないように考えてください。
- 全体的に景観を考えて欲しい。
- 立体駐車場は作らないでほしい。
- 景観を守るなら立体駐車場ではなく、地下駐車場を検討すべきでは。

【対応方針等】

限られた土地を有効利用すること、費用対効果等の観点をふまえ、新たに建設する駐車場は立体駐車場としたいと考えております。

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する景観を大切に守りながら」を、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、駐車場について「壁面緑化や植樹などにより、周辺環境や六甲山系の山並みに配慮」を明記しました。

高さやデザイン、壁面緑化などを工夫することで、かつて「原田の森」と呼ばれていた歴

史や、周辺の六甲山系の美しい山並みを背景とする景観に配慮し、検討を進めていきます。

【ご意見等(6)-2】

- 駐車場から動物園ゲートまで遠いのと車線を横断するのが気になる。
- 新駐車場の位置、渋滞問題・人と車の動線を考えて。
- 新しい駐車場入り口は、片側一車線の先にあるので公園前の道路の渋滞が危惧される。
- 駐車場の出口が北側であれば、愛児園や老人ホーム等に危険。
- 渋滞が多いので、駐車場はむしろ増やす必要があるのではないか。
- 現在は640台駐車。整備計画では何台駐車できるか？
- 市営バスをもっと有効活用して欲しい。
- 公共交通を活用できるようなことも考えてほしい。
- 立体駐車場に遠足に来ている観光バスは入れるのか？

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、安全な歩行者動線の確保、大型バスの乗降場所や駐車スペースの確保等に努めます。

駐車場の規模については、鉄道駅に近いという交通の利便性をふまえ、周辺景観にも配慮した適正な規模での整備を進めたいと考えています。

あわせて、駐車場待ち車列への対応として、公共交通機関の利用促進、駐車場料金の見直しや運用の工夫等、交通手段の転換や利用時間帯の分散を図る取り組みについても検討します。

具体的な整備内容については、修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、基本計画策定の中で検討していきます。

(7)原田の森・景観・自然・緑・桜・環境

【ご意見等(7)-1】

- 原田の森のイメージを残していただける事はとても大切な事だと思います。緑を多く、今の景観を残してほしい。
- 原田の森、六甲の山並み、観覧車からの海…この景色を100年先まで残したい。
- 六甲山を見通す風景。
- 六甲山が見える景色守りたい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する景観を大切に守りながら」を、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「歴史や文化を踏まえた「原田の森」の創造」「キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となることで、開放感のある魅力的な空間を創出」を、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「樹木の保全や新たな植樹、建物の高さやデザイン、壁面緑化などにより、公園全体として六甲山の山並みと調和した景観を維持・創出できるよう配慮」を明記しました。

【ご意見等(7)-2】

- 都市のまんやかに自然を残すことに意味がある。
- 森の環境がどれだけ抵触されるかが不安。
- 緑の広場 自然の中で親子で過ごせる場所に。
- 桜の木はそのままに残してください。
- 古い桜の植え替えで今くらいの桜の量にはならない？

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「④公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上」として、「緑豊かで桜の名称として親しまれている自然環境や景観の保全」「子どもたちの学びや成長の場としての利用」「緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張」を明記しました。

(8) 子どもの遊び場・緑の広場・オープンスペース

【ご意見等(8)-1】

- 子育て世代のための再整備。
- 子供、お母さんにとって行きたくなるような場所を作ってほしい。
- 乳母車を押すお母さんたちが喜ぶような芝のオープンスペースがほしい。
- 家族の憩いの場こそ、将来世代に継承して欲しい。
- 子どもたちが自然に触れる、それを求める世帯がたくさんいることを知ってほしい。
- お話を聞いてとにかく強く思ったのは子供のための遊び場を残してほしいということでした。
- 児童、生徒が気軽に利用できる安全に配慮された公園。
- ボール遊びができる公園。
- 子供たちがもっと楽しく遊べる施設を、充実してはどうか。
- 子どもから大人まで遊べる魅力的な大きい公園を作ってほしい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「③王子動物園の魅力向上」として、「市民が身近に楽しめる魅力ある動物園」「動物園にふさわしいレクリエーション機能」を、「④公園とスポーツ施設のリノベーション」として、「子どもたちの学びや成長の場としての利用」「子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れ日常的に使うことのできる、居心地の良い、ゆとりある空間づくり」「緑の広場」を整備するなど、憩い・くつろげる空間を拡張」を、「4. 再整備による各施設の方向性」において、ちびっこ広場・わんぱく広場については「スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実（体力向上にもつながる新たな遊具、多目的に利用できる広場等）」を明記しました。

子どもが楽しめる空間はこれまでより拡大できると考えており、修正素案「5. 再整備の進め方」でお示したとおり、具体的な各施設の整備内容については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

【ご意見等(8)-2】

- ラジオ体操の場所がある。
- 健康器具、遊具など公園をもっとおしゃれに有効に使えるように変えて欲しい。
- 公園の遊び場に水場がほしい。
- イベントいろいろ：動物園との連携、学生さんたちとの連携、地域との連携、阪急電車などなど。
- 広くなったみどりの広場で、毎週イベントが開催されると良いと思います。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、「緑の広場」について「ラジオ体操や地域活動、大学との交流に活用できる多目的な芝生広場、遊具、親水空間、にぎわい施設などを設置」を明記しました。

修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容等については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

【ご意見等(8)-3】

- 市民の憩いの場としての拡充が必要なのではないか。
- 大学と緑の広場の一体化を。 例「緑ある大学」

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大」を、修正素案「4. 再整備による各施設の方向性」において、大学について「緑の広場と一体となったキャンパスにより、開放的な空間と魅力的な景観を形成」を明記しました。

【ご意見等(8)-4】

- 散歩ルートの確保（夜も安全に）。
- ランニングなど走れる環境、遊歩道があるといい。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「ゾーン間の物理的なつながりと視覚的な拡がり確保」「緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶシンボルプロムナード」「公園東側の現在の遊歩道部に魅力的な歩行者空間を確保」を、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「公園内で、ラジオ体操やジョギングなどを行える機能確保」を明記しました。

園内を回遊できる遊歩道の整備を目指し、修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

(9) 防災

【ご意見等(9)-1】

- 防災拠点としてのこしたい。
- このエリアの避難場所としての機能は残してほしい。
- 緑の広場を防災地としても考えておく。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「3. 再整備の基本目標とゾーニング」において、「広域防災拠点の機能強化」を、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「緑の広場を含め各施設の機能分担・連携により、従前の機能の維持・向上」を明記しました。

(10) その他

【ご意見等(10)-1】

- 阪急王子公園西口から、空中回廊のようなものをつくって王子公園にアクセスできるようにすべき。ホームから西口改札への階段が急で危ない。
- 駅からのルート of 整備も検討。もっとわかりやすくきれいに。
- 公園の入り口が分かりにくい。
- 夜道を明るく。
- 商店街に人の流れが出来るようにすべき。
- 青谷川東側と合わせて再整備。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、駅からのアクセスの改善や安全でわかりやすい歩行者動線の確保をはじめ、周辺施設との回遊性のあり方などについて検討していきます。

修正素案「5. 再整備の進め方」でお示ししたとおり、具体的な各施設の整備内容等については、いただいたご意見も踏まえ、基本計画策定の中で検討していきます。

【ご意見等(10)-2】

- ハンター邸の活用 例えばカフェ。
- 歴史が分かる表示、歴史の継承（教育）。
- 王子公園がきれいになるのが楽しみ。

【対応方針等】

ご意見を踏まえ、修正素案「2. 再整備の意義」において、「古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、山から海まで広がる神戸を代表する景観を大切に守りながら、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承」を明記しました。

旧ハンター住宅など存続となっている施設についても、「4. 再整備による各施設の方向性」において、「適時必要な方策を検討」を明記しました。